



# 9月 学校だより



令和8年8月31日  
横浜市立八景小学校  
〒236-0021  
金沢区泥亀1-21-2  
Tel 045-781-2434

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hak>

## 小さな命から教えてもらったこと

児童支援専任 川和友子

夏休みが終わり、学校に子どもたちの声が戻ってきました。楽しかった夏の出来事や思い出についての話をたくさん聞かせてくれました。

さて、我が家でネオンテトラを飼い始めました。

小さな水槽の中を、5匹のネオンテトラがすいすい泳いでいます。体はほんの数センチほどしかありません。それでも、餌を食べ、仲間と一緒に泳ぎ、毎日一生懸命に生きています。そんなけなげな姿に毎日癒されています。水槽を眺めていると、「命の大きさは、体の大きさでは決まらないものだ」と感じます。小さな魚も私たち人間も、それぞれがかけがえのない一つの命です。

毎日元気に過ごしていると、つい忘れてしまいますが、「今日も生きている」ということは、決して当たり前のことではありません。家族と話したり、友達と笑ったり、学校で学んだりできる何気ない一日が、大切な一日なのだと思います。

夏休みが終わり、学校生活が始まりました。楽しみにしていた子もいれば、「学校に行くのがちょっと心配だな」「友達関係がうまくいかな」と不安を感じていた子もいるかもしれません。夏休み明けの朝会では、子どもたちに次のような話をしました。不安を感じているときには、無理をして一人で頑張らなくても大丈夫です。「困っています」「話を聞いてください」「助けてほしいです」と誰かに伝えてもらえたらと思います。SOSを出すことは、弱いことではありません。自分の大切な命を守るための、大切な力です。また、周りに困っている友達がいたら「大丈夫?」と声をかけたり、先生や家族に知らせたりすることも、その人の大切な命を守ることに繋がります。

学校では、一人ひとりの小さな変化に気づき、安心して過ごせる居場所を作っていきたいと思います。子どもたちが困ったときには「誰かに相談していい」「自分は大切にされている」と感じられる学校でありたいと考えています。

水槽の中では今日も、ネオンテトラが仲間とともに泳いでいます。元気に泳いでいる時もあれば、疲れたのか、じっと止まっていることもあります。子どもたちも、がんばれないときには、一休みすることも必要です。無理せず自分のペースで、そして、互いに支えあいながら歩いていってほしいと願っています。

まだまだ暑い日が続きますが、教職員一同、子どもたち一人ひとりの心と体の健康にも気を配りながら、子どもたちと一緒に学校生活をつくっていききたいと思います。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続きご理解、ご協力のほどお願いします。

